

## 第49回中国中学校ソフトテニス選手権大会 運営および競技の規定

令和3年8月5日（木）～7日（土）

於： ヤマトスポーツパーク

- 1 競技は、現行の（公財）日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」および第49回中国中学校ソフトテニス選手権大会「要項」・「運営および競技の規定」によって行う。
- 2 選手・監督変更は、令和3年8月5日専門委員長会議までに、監督が各県専門委員長に所定の様式を提出し、承認を得ておくこと。  
各県専門委員長は、専門委員長会議の席上、変更届で大会事務局に申し出ること。
  - 団体戦は人数の制限は設けない。
  - 個人戦は1名のみとする。やむを得ない事情の場合は、当日受付時まで認めることもある。
- 3 監督打ち合わせ  
例年のような監督会議は行わない。各県の専門委員長は、試合当日8：30までに各県の監督を招集し、「運営及び競技の規定」その他本大会に必要な事項を事前周知しておく。
- 4 式典について
  - (1) 例年のような開会式・閉会式・表彰式は行わない。
  - (2) 来賓・選手の紹介等は、プログラム紙面をもって代替える。
  - (3) 各県の専門委員長は、試合当日8：30までに各県の監督を招集し「運営及び競技の規定」その他本大会に必要な事項を事前周知することで対応する。
  - (4) 優勝旗の返還は、各種別の試合開始前に大会運営室にて該当校ごとに個別に返還する。
- 5 保護者や応援選手等の観戦については、別紙『中国中体連新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン』の通りとする。
- 6 選手到着票・オーダー用紙の提出等について
  - (1) 選手到着票については、個人戦1回戦に出場するペアは8：30までに、2回戦から出場するペアは9：00までに、団体戦は8：30までに、監督が本部進行席へ提出すること。
  - (2) オーダー用紙については、予選リーグ第1対戦は8：30までに、以後の予選リーグは前の対戦終了後10分以内、また準決勝・決勝は対戦チーム確定後10分以内に監督が本部進行席へ提出すること。
- 7 集合について
  - (1) 個人戦については、第1試合の選手・監督（コーチ）は8：45までに、それ以後の1～3回戦は前の試合終了までに、4回戦（準々決勝）以後は対戦ペア確定後10分以内に選手招集所へ集合完了しておくこと。
  - (2) 団体戦については、予選リーグ第1対戦の選手・監督（コーチ）は8：45までに、以後の予選リーグは前の対戦終了後15分以内、また準決勝・代表決定戦・決勝は対戦チーム確定後15分以内に選手招集所へ集合完了しておくこと。
- 8 試合については、次のようにする。
  - (1) マッチは、7ゲームマッチとする。
  - (2) 個人戦はトーナメント戦で行う。
  - (3) 団体戦は3校での予選リーグを行い、1位校による決勝トーナメント戦を行う。対戦は3組の点取り対抗戦とし、2点を得たチームを勝ちとする。予選リーグは、3マッチすべてを行う。決勝トーナメントは2点先取で勝ちとする。決勝トーナメントにおいて2面ないし、3面同時展開のときは、勝敗が決定した段階で成績を決め、終了する。
  - (4) 団体戦の試合進行において、2組目のマッチが対戦開始後おおむね70分以内に終了していない場合は原則2面展開とし（ただし隣のコートが終了している場合）、3組目のマッチを開始する。

9 使用球は、次のようにする。

- (1) 使用球は公認球とし、上位大会にならない、**団体戦は男女ともアカエム、個人戦は男子がダンロップ、女子がケンコー**を使用する。

10 服装については、次のようにする。

- (1) 「要項」の規定に従うこと。
- (2) 選手、監督、外部指導者（コーチ）は「要項」の規定によるゼッケンを必ず着用すること。
- (3) 服装規定に違反がある場合は、本大会への出場を認めない。

11 競技上の事項については、次のようにする。

- (1) ベンチは、若い番号が中央スタンド側とする。
- (2) ベンチの人数は、監督または外部指導者1名と登録選手で、団体戦は最大9名、個人戦は3名とする。
- (3) ベンチコーチについては、決められた時間内であればプレーヤーに対して助言することができる。（1分以内とする。ただしコート外からの助言については、禁止とする。）
- (4) クーラー等はベンチに持って入ってもよい。\*熱中症対策としてチェンジサービス時とファイナルゲームのチェンジサイズ時にも審判台下で給水を認める場合がある。その際、ベンチに戻っての給水は認めない。日傘の持ち込みも認めるが、色は黒・紺とする。
- (5) 個人戦において、同一校が複数のコートで試合を行っている場合、監督（外部指導者）は入っているコートのベンチから最も近い出入口から出てもよいが、再度もとのコートのベンチに入ることにはできない。\*個人戦に2ペア以上出場する場合は、出場ペア数まで監督・外部コーチをおくことができる。
- (6) 異議の申し立ては禁止、プレーヤーはプレーの進行及び判定に関し、アンパイヤーに対して異議を申し立て、又結果を不服として故意にプレーを中断してはならない。
- (7) 前項の規定は、プレーヤーがアンパイヤーに対して質問することを妨げるものではない。ただし、質問に対する結果については、前項の規定を適用する。

12 マナーについては、次のようにする。（プレーヤーの心得）

プレーヤーはお互いにマナーを尊重し、次の事項を守らなければならない。

- (1) 過度のかけ声、または相手を不快にする発声をしないこと。
- (2) マッチの開始から終了まで連続的にプレーし、次の行為をしてはならない。ただし、サイドのチェンジ及びファイナルゲームに入る場合は、前のゲーム終了から1分以内にゲームを開始する態勢に入るものとする。（45秒でレッツプレイ）
  - ア 相手がレシーブの構えをしているのに、サービスをせず、又は相手がサービスをしようとしているのにレシーブの構えをしないこと。
  - イ 故意にゲームを長びかせる行為をする。
  - ウ マッチの進行に支障となる状態でパートナー同士の打ち合わせをし、又は休息を取る。
  - エ ゲーム終了後次のゲームにうつる構えをしないこと。
  - オ ファイナルゲーム内のサイドのチェンジの場合に休息を取る。
  - カ ラケットの修理をする。

13 練習コートについては、別紙『練習コート割当表』の通りとする。

14 その他

- (1) ゴミは持ち帰りとする。\*大会本部が指定した旅行業者を通じて注文した弁当殻は、決められた時間までに返却場所に持ってくる。
- (2) 貴重品については各校で責任を持って行う。
- (3) コート・壁打ちコート以外でボールを使った練習はしない。
- (4) 運動公園の施設内は禁煙となっております。
- (5) 宿泊申込については必ず大会実行委員会を通して行うこと。